

令和 8 年度の取組について（水道）

第 3 回 京都府上下水道施策に関する意見聴取会議

令和 8 年 5 月 19 日（火）

京都府建設交通部水道政策課・下水道政策課

1 市町村水道支援に関する取組（研修会等の開催）

実施内容

京都府では、水道事業者等の取組の支援の一つとして、引き続き、人材育成や技術力向上のための研修会等を開催

➤ 研修会（予定）

時 期	名 称	内 容
4 月 ～ 6 月	市町村上下水道初任者研修（事務①）	公営企業財務会計（基礎）
	市町村上下水道初任者研修（事務②）	関係法令、関連計画、交付金 等
	市町村水道初任者研修（技術）	配水管維持管理 等
7 月 ～ 9 月	日本水道協会京都府支部・ 京都府合同研修会（事務部門）	経営基盤強化に関連する内容 日本水道協会の行う研修メニュー 等
10月 ～ 3 月	水循環プラットフォーム研修	公営企業財務会計（応用） 等
	水道水質管理技術研修	水道水質に関連する内容
4 月 ～ 3 月	水道管技術研修 ※	基礎、設計、施工、維持管理、実演 等

※市町村アンケート結果を踏まえ、基礎、設計、施工、維持管理、実演などを組み合わせて数回開催予定

➤ 浄水場相互訪問事業

訪問希望先や受入可能先について市町村の意向を踏まえ実施

2 広域連携等に関する取組（研究会の開催）①

全圏域

➤ 人工衛星を活用した漏水調査

- 漏水調査実施に関する協定を締結し、府がとりまとめて一括発注し広域的に人工衛星を活用した漏水調査を実施
- 調査結果をもとにスクリーニングされた漏水疑いの箇所に対して、現地での音聴調査を実施するとともに、調査結果の分析・検証

➤ 会計システムの共通化

- 経理事務担当者を中心に共通化の効果や課題について検討
- 共同調達における概算見積結果の共有
- 基本的な方向性のイメージを共有し基本方針、協議会スキーム等について研究
- 上記に加えて、日常の経理事務に関する意見交換会

➤ 水道DX技術の活用

- 技術紹介及び先進事例調査を実施するとともに、導入に関する課題・補助制度等の確認などを行い、研究を進める
 - ・ AI管路劣化診断
 - ・ 監視システムにおける水道情報活用システムの活用 など

2 広域連携等に関する取組（研究会の開催）②

南部圏域

➤ 人材育成・技術継承に資する取組（共通マニュアル等）

- 人材育成・技術継承に資するマニュアルや企業技術の活用等について研究を進める

中部圏域

➤ 事務の広域連携

- 各種業務の共同発注等の広域連携について、先進事例調査などを実施し、共同発注の可能性等について研究を進める

北部圏域（市町村の自主的な勉強会として開催）

➤ 水道事業の広域連携

- 「京都府北部連携都市圏推進協議会」における水道事業の広域化・広域連携事業を検討するため、引き続き、勉強会を開催し水道事業の広域連携等について研究
- 水道事業の広域連携等に係る取組のうち「広域型官民連携（市町村の枠を超えた官民連携）」について、あり方検討会を設置し検討を進める

2 広域連携等に関する取組（経営基盤強化検討業務）

検討内容（案）

➤ 京都水道グランドデザインに基づく経営基盤強化検討

- 京都水道グランドデザインの改定から4年が経過する中で、水道整備・管理行政が国土交通省へ移管され、能登半島地震での甚大な被害を踏まえた地震対策、埼玉県道路陥没事故を踏まえた老朽化対策及び今後の上下水道政策の基本的なあり方のとりまとめなど上下一体の取組の推進が求められるなど、水道を取り巻く環境が大きく変化
- 現状を踏まえた府内全域の将来推計等の把握を行い、今後の水道事業の方向性についての検討に活用

概 要

➤ 上下水道リスクマネジメント事業

- 府内の市町村を対象に、地域特性に応じた災害時の上下水道施設の代替性・多重性の確保及び受援体制の構築に向けて、広域的な視点から調査・検討を行う
 - ・ 令和8年度は能登半島に地理的特性が似ている北部地域（丹後・中丹管内）から受援体制の構築に係る検討を進める
 - ・ 北部地域の災害対応要領や職員体制、支援の際に重要となる施設、上下水道施設の耐震化計画、宿泊施設等の情報収集を実施
 - ・ 情報や関係市町との議論を踏まえ、広域的に支援を受ける場合を想定した拠点の検討を実施
 - ・ R9年度以降は、北部地域の代替性・多重性の確保及び他の地域で同様の調査・検討を実施

➤ 上下水道リスクマネジメント会議

- 府及び市町村の危機管理の現状や地域の特性を踏まえた災害対応力の向上を目指すため、「上下水道リスクマネジメント会議」を開催